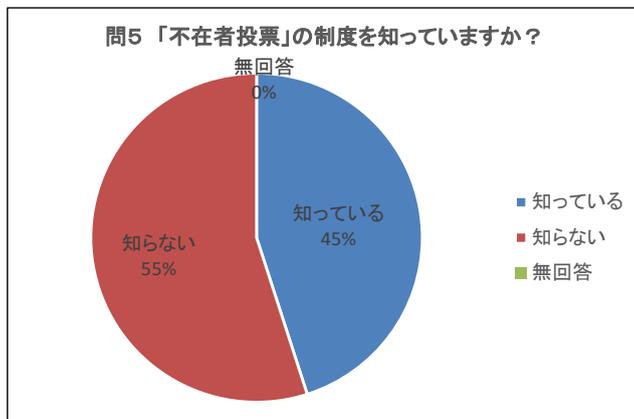
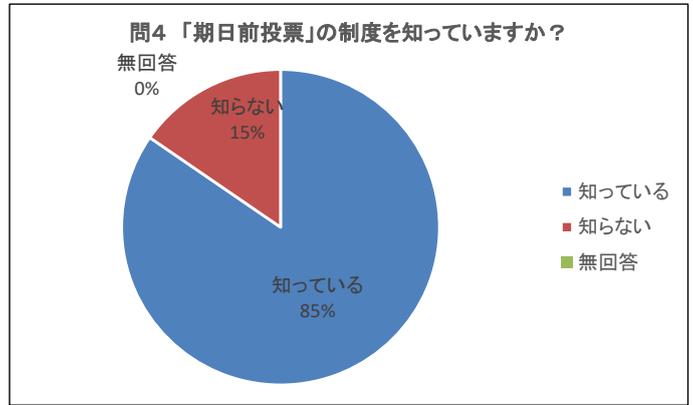
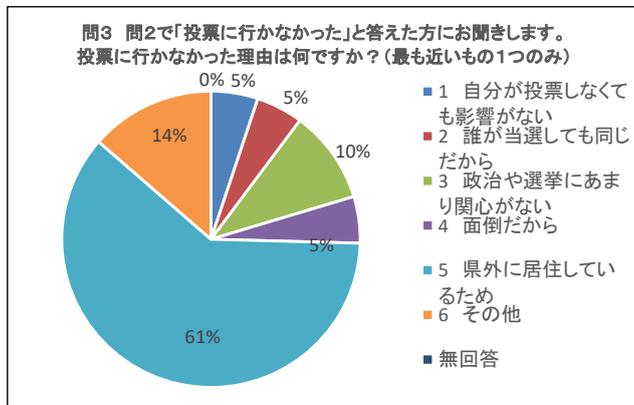
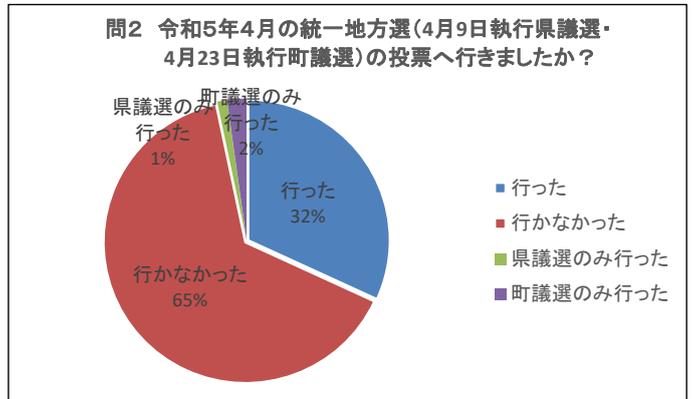
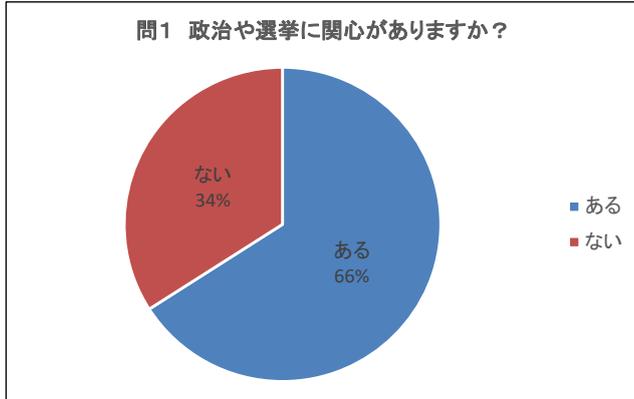


令和5年度 箕輪町二十歳のつどいアンケート結果

8月15日(火)に行われた二十歳のつどいの会場で、「選挙に関するアンケート」を実施しました。

回答者：91人



質問6 どうしたら若い人たちの投票率が上がると思いますか？

- SNS
- オンラインでの投票(いつでも良い、期間を決めて投票できる)
- SNSを活用した選挙公約の提示
- 投票率が上がるような演説をする
- 罰金制度
- ポスターを増やす
- 期日前投票を広める
- 絶対に目につくようにしつくCM等を行う
- 県外でも投票できるようになったらやりやすいと思う
- 候補者をどういう風に見たらいいかわからなくて行かない人もいますので、選び方を伝える
- インスタ等のCMを活用
- 投票したらお菓子やアイス、生活用品がもらえる券があるといいと思う
- 情報を知る機会が少ないので、もっと発信を多くしてほしい
- 政治家が変わる

【結果と考察】
 今回アンケートにご協力いただいた方の約7割が政治や選挙に関心があるとの回答でした。しかし、「令和5年4月執行の統一地方選挙の投票へ行きましたか」という質問に対して、県議・町議共に投票へ行くと回答した方は32パーセントに止まりました。県議・町議どちらかに投票に行った人を足しても、35%でした。投票に行かなかったと答えた方の理由を見ると、「県外に居住しているため」という理由が61%と最も高い割合を占めています。質問4、質問5の結果を見ると、「期日前投票」について85%の方が知っているのに対して、「不在者投票(箕輪町に住民票があって、町外、県外に滞在している場合、その滞在地での投票ができる制度)」について知っている方は45%で、55%の方が「不在者投票」を知らないという結果でした。
 箕輪町に住民票があり、町外、県外に居住している方は、「不在者投票」という方法で投票できるということを知ってもらうことが若い世代の投票率向上につながると考えられます。
 箕輪町選挙管理委員会と箕輪町明るい選挙推進協議会では、今回のアンケート結果を参考に、若者が選挙に関心を持ち、投票に参加していただけるような取り組みを検討していきます。
 二十歳を迎えられた皆さん、ご協力いただきありがとうございました。